

# 大災害に小規模自治体はどう立ち向かうか

このたびの東日本大震災は津波を伴い、東日本の沿岸部を中心に甚大な被害をもたらし、余震や関連する地震による被害を含めて各地で被害が拡大し、多くの尊い命が失われ、多くの方々がいまだ避難生活を余儀なくされています。また、きわめて深刻な原発事故の発生によって現地自治体と住民は域外避難を強いられています。被災地の自治体は職員自らも犠牲者が出るとともに住宅が被災するなかで、不眠不休で住民の救済、避難、ライフラインの復旧に取り組んでいます。全国の自治体からも救援物資の配送、職員の派遣、義捐金など、できる限りの支援が行われています。



こうした努力にもかかわらず、被災地では避難の長期化、仮設住宅建設の遅れ、産業・雇用の喪失、住宅とまちの復興の方向性の不透明さなど、多くの困難と課題を抱えており、自治体機能の回復・強化も焦眉の課題となっています。また、原発事故はいまだ収束の見通しが不透明であるとともに、事態悪化のリスクを抱えたままであり、住民と自治体はかつてない困難に直面しています。

本フォーラムは、小規模自治体に対する「強制合併」論に抗して2003年、今回地震による被害のあった長野県栄村に集まったのが始まりでした。その後も交付税削減のなかで「自律（自立）計画」を実践し、「小さいからこそ輝く」取り組みの成果を交流し合ってきました。今回の大災害においても、フォーラムに関係する町村を含む被災県の小規模自治体は懸命の取り組みを行っており、町村同士の支援も行われています。

被災地の現状を鑑みれば、本フォーラムの関係団体がこの間、交流し、培ってきた資源を活かし、被災地自治体の現状と課題をしっかりと見つめるなかで、小規模自治体らしい助け合いのあり方や復興のあり方を議論することは大きな意義があります。また、今回の震災を契機として市町村合併や道州制を推進する動きが出ており、防災や復興における小規模自治体の存在意義をあらためて明らかにしていくことが求められています。

今回のフォーラムは、被災地のみならず全国の自治体関係者による被災者援護、復旧、復興に向けた取り組みが急がれるなかではありますが、上記の意義に照らして緊急に開催することといたします。今回は第二回フォーラムの開催地である長野県阿智村が会場と事務局を引き受けていただきました。南信州では南相馬市から被災者を受け入れており、阿智村でも昼神温泉での短期受け入れなどを行っています。このような時期だからこそ大いに交流し、展望を切り拓いていく機会としたいと思います。是非ご参加ください。

全国小さくても輝く自治体フォーラムの会 緊急フォーラム「大災害に小規模自治体はどう立ち向かうか」要項

日 程 5月14日(土)13時 ~ 15日(日)12時

会 場 長野県阿智村中央公民館(0265-43-2061)

参加費 フォーラムの会会員(個人会員、団体会員の職員等):無料  
一般の方:2000円

懇親会費:2000円(当日会場でいただきます。)

宿 泊 恐縮ですが、ご自身で、ご手配・精算をお願いいたします。

昼神温泉ガイドセンター(0265-43-3001)で斡旋いたします。

交 通 昼神温泉ホームページ <http://www.hirugamionsen.jp/> をご参照下さい。

阿智村中央公民館は昼神温泉の2.5キロ東、役場隣です。

中央高速バス「駒場(中央道昼神温泉)」または「阿智」バス停が便利です。

徒歩10分。

新宿発8時(伊賀良12:06)の高速バスについては、伊賀良バス停にてお迎えします。土曜日は渋滞が予想されます。

自家用車は、中央道飯田山本I・Cにおいて、国道153号を西に約3.5キロ。

#### スケジュール

5月14日(土)

13時 開会:阿智村からの歓迎のあいさつ 岡庭村長

13時15分~

被災地自治体からの報告(福島県ほか)

被災者受け入れ自治体からの報告(南信州、群馬県内の町村から、ほか)

全体討論・まとめ

17時30分終了

それぞれの宿泊ホテル等で夕食をおとりください。

20時~ 懇親会 会場:昼神温泉内

5月15日(日)

9時~

シンポジウム「小規模自治体の被災地支援・助け合いのあり方を考える」

パネラー:自治体関係者・被災者支援団体関係者・研究者

11時30分~ 提言・アピールの提案

被災地支援の取り組みの提案

12時終了

#### 小さくても輝く自治体フォーラムの会 緊急フォーラム参加申込書

お名前	所属
	ご連絡先
交通手段 高速バス 新宿 名古屋 発____時 自家用車	電話 F A X

ご記入のうえ、事務局(03-3235-5933)までFAXをお願いします。